



スマートICだより

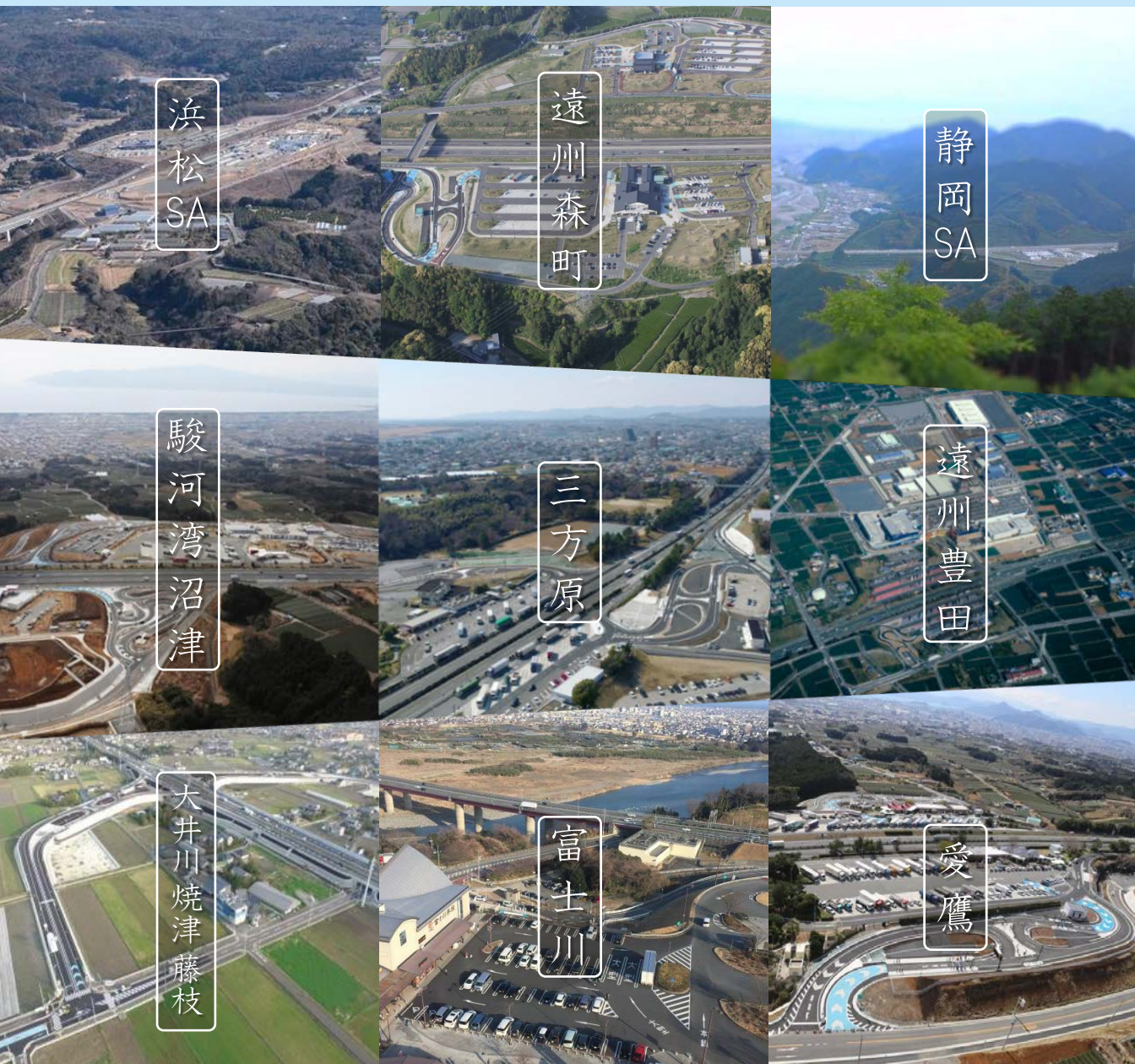
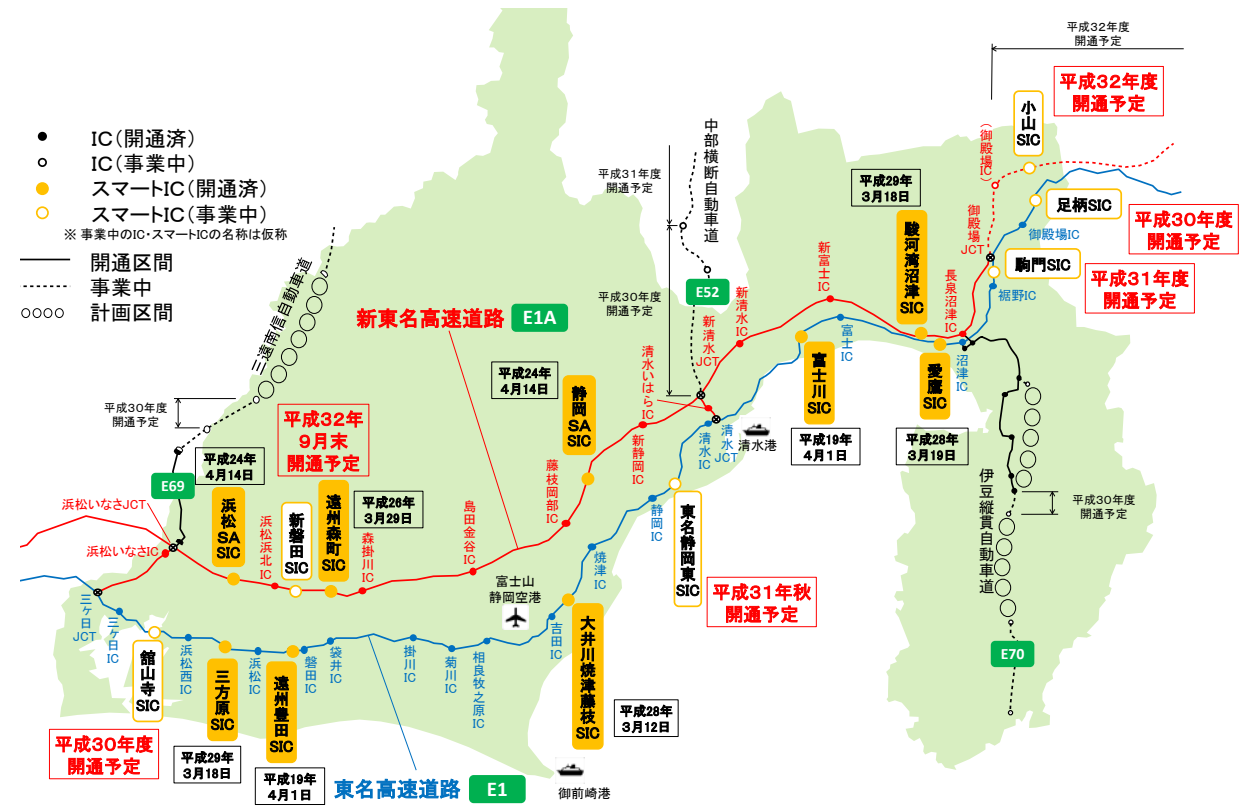
① 県内スマートICの整備状況

✓ 静岡県内のスマートICの箇所数（開通済箇所+事業中箇所）は、全国第1位を誇っており、日本の大動脈である東名・新東名を最大限に活用できる環境が着々と整っている。

■スマートIC箇所数ランキング（H29.11時点）

順位	都道府県	開通済	事業中	箇所数(計)
1	静岡県	9	6	15
2	新潟県	10	0	10
3	福島県	5	3	8

出典：国土交通省公表資料より算出



② 県内スマートICの利用状況

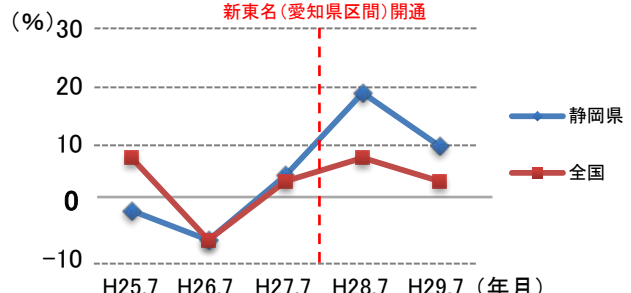
✓ 大井川焼津藤枝スマートICの利用台数は平成29年11月に全国第2位を記録！
 ✓ 県内スマートICの利用台数は増加傾向にあり、今後も県内の高速道路ネットワークの充実に伴って、その勢いが更に加速していくと期待！

■スマートIC利用台数ランキング（H29.11）

高速名	スマートIC名称	市町名	利用台数	全国順位※
東名	大井川焼津藤枝	焼津市	7,025	2
	三方原	浜松市	5,365	10
	愛鷹	沼津市	4,432	12
	富士川	富士市	4,332	15
	遠州豊田	磐田市	2,471	33
新東名	浜松SA	浜松市	2,603	31
	駿河湾沼津	沼津市	1,947	44
	遠州森町	森町	1,511	53
	静岡SA	静岡市	1,396	56

※ 高速道路統計月報より算出（対象：93箇所）

■スマートIC利用台数の前年度比（箇所平均）



出典：高速道路統計月報より算出

トピック

特別企画 静岡県内のスマートICを大分析！

- ▶ スマートIC整備が地域にもたらすストック効果とは？
- ▶ 県内のスマートIC整備によるストック効果の事例紹介
- ▶ 県内のスマートICの整備状況&利用状況

編集・発行 **静岡県スマートIC協議会**

事務局 静岡県 交通基盤部 道路局 道路企画課
 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL:054-221-3359

▶スマートIC整備が地域にもたらすストック効果とは？

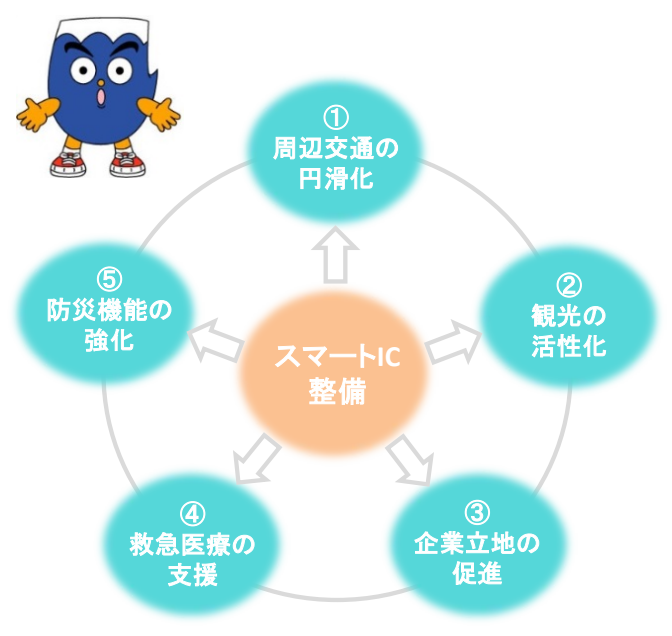
- スマートIC整備のメリット(従来のICと比較)
- ①建設費用が安い！
ETC専用のため、料金徴収施設を集約する必要がなく、コンパクトな整備が可能
 - ②管理費用が安い！
料金徴収にかかる人件費の節約が可能



日本の高速道路のIC間隔は、欧米諸国の平野部における無料の高速道路の2倍程度にあたる約10kmです。国は、IC間隔を現状の半分である約5kmにすることを目標に、スマートICの整備を推進しています。

今回は、県内で開通している9箇所のスマートICのうち、地域に波及する5つの代表的なストック効果を皆さんに紹介します！

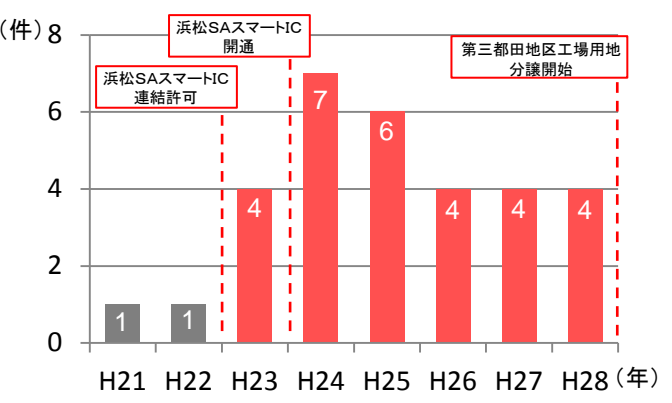
<代表的な5つのストック効果～県内の事例から～>



③ 企業立地の促進【E1A 新東名 浜松SAスマートIC(浜松市)】

- ✓ 6年間(H23～H28)で**浜松SAスマートIC5km圏内に20社以上の事業所が新規立地**
- ✓ 内陸フロンティア推進区域「第三都田地区工場用地」分譲開始

■開通前後の新規立地状況[浜松SAスマートIC5km圏内]

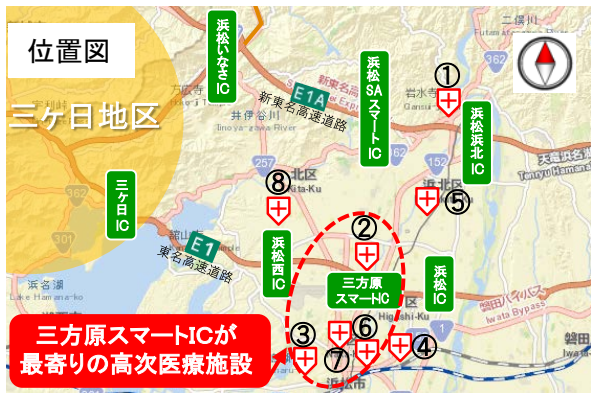


④ 救急医療の支援【E1 東名 三方原スマートIC(浜松市)】

- ✓ 浜松市内の4か所の高次医療施設は、三方原スマートICが最寄り的高速ICに転換
- ✓ 搬送時間、救急車振動軽減等により**患者の負担が軽減**

■浜松市内(一部) 高次医療施設一覧

病院名	高次医療	最寄り的高速IC		
		三方原SIC	東名既存IC	新東名既存IC
① 天竜病院	2次			○
② 浜松医大病院	2次	● ←	○	
③ 浜松医療センター	3次	● ←	○	
④ 浜松労災病院	2次		○	
⑤ 浜松赤十字病院	2次			○
⑥ 遠州病院	2次	● ←	○	
⑦ 聖隷浜松病院	3次	● ←	○	
⑧ 聖隷三方原病院	3次		○	



三ヶ日地区の高次医療施設が受け入れ困難の場合、三方原スマートICを利用し、別の高次医療施設まで患者を搬送することが可能となりました。また、高速道路を利用することで、搬送時間の軽減や信号がないこと等により患者への負担が軽減されました。(三ヶ日地区の消防署職員)

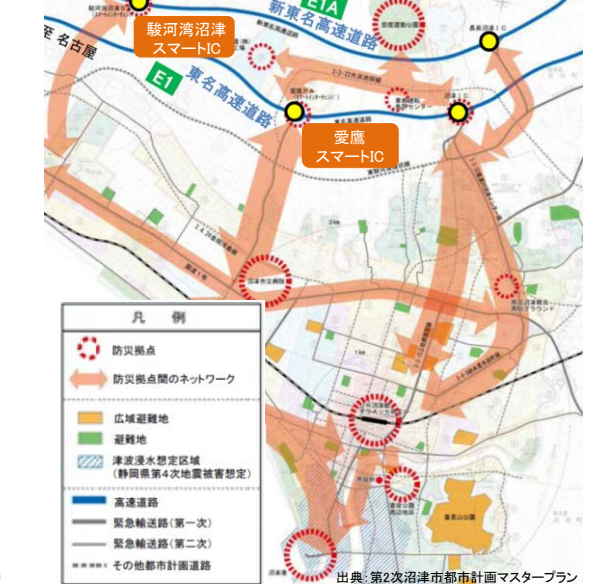
⑤ 防災機能の強化【E1A 新東名 駿河湾沼津スマートIC(沼津市)】

- ✓ ヘリポート造成など防災機能が強化され、**陸路と空路での復旧支援ルートの確保が可能**

■駿河湾沼津SAの上下線にヘリポートを造成



■防災拠点間のネットワーク図

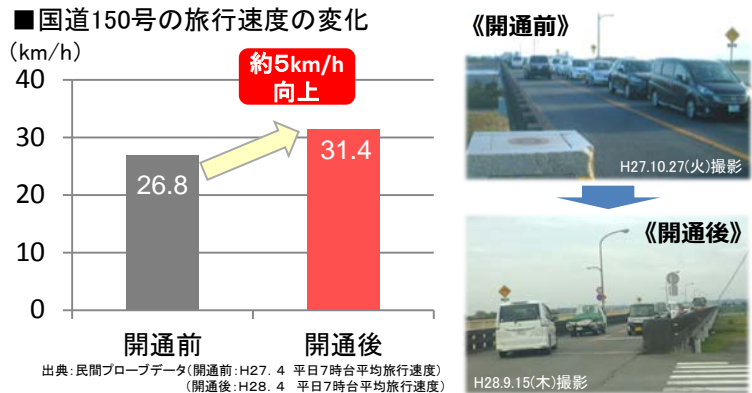


駿河湾沼津SAは、平成29年3月に改定された第2次沼津市都市計画マスタープランにおいて、南海トラフ巨大地震に対応するための防災拠点として位置付けられています。(沼津市担当者)

▶県内のスマートIC整備によるストック効果の事例紹介

① 周辺交通の円滑化【E1 東名 大井川焼津藤枝スマートIC(焼津市)】

- ✓ スマートIC開通後、**国道150号の旅行速度※が約5km/h向上**



② 観光の活性化【E1A 新東名 遠州森町スマートIC(森町)】

- ✓ 森町体験の里「アクティ森」への来場者数は、新東名の県内区間が開通してから増加傾向
- ✓ 遠州森町スマートIC開通後は更に勢いを増し、**平成28年度は新東名の開通前から約33%増**

